

~~~~~  
10年後の中野を描くメールマガジン 第16号  
~~~~~

発行日：2004年11月26日（金）
発行：中野区区長室基本構想担当
〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
電話03-3228-5572

☆メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ
seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

☆メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magagine.html>

☆現在の中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

◆もくじ◆

◆基本構想等意見交換会の実施結果について

◆編集後記

◇お知らせ「区のしごとの評価を考えるフォーラム2004」

◆基本構想等意見交換会の実施結果について◆

10月から11月にかけて、「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画
検討素材（NO. 4）」について、区民のみなさんとの意見交換会を開催
しました。

- ◎期 間 平成16年10月25日から平成16年11月9日まで
- ◎開催回数 全16回
- ◎会 場 全地域センター及び区役所。
- ◎参加人数 延303人のご参加をいただきました(^!^)

☆☆意見交換会において検討素材（NO. 4）について、みなさんからいた
だいたご意見と区の見解を一部ご紹介します☆☆

▼その他のご意見等については、区ホームページ上にPDFファイルにてア
ップしています。検討素材（NO. 1からNO. 4）についても、あわせて
ご覧いただけます。
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

<Q：みなさんからのご質問・ご意見、A：区の見解>

【基本構想全般について】

- Q. この基本構想が、いつからスタートしていつまでやるということが書かれ
ていない。美辞麗句の集まりで言葉遊びの感がある。
- A. 基本構想は議会の議決が必要であり、スタートは議決の日となる。基本構
想の実現をめざす10か年計画は、来年度からスタートし、3年ぐらい経った
らローリングしていきたい。
- Q. 本構想は前よりよくなっただが、文章は官僚的でわかりにくい。もっと短
くてよい。どういう層を対象にしているのか。
- A. いろいろな人を想定して表現を考えたものだが、さらに工夫したい。基本

的には中学生にわかるような文章表現に努めたい。

【前文・基本理念について】

Q. 選挙で信託を受けるのであれば、選挙のたびに改定しなければならないのではないか。

A. 基本構想は区長だけで決めるものではなく、同じく区民から信託を受けている区議会で議決されるものであるため、そういったことにはならない。

【中野のまちの将来像】

Q. 10年後に残せるものは、豊かな緑と防災に強いまちだと思う。警大跡地には防災公園をつくって欲しい。

A. 警大跡地をはじめとした中野駅周辺まちづくりについては、3～4haの公園・オープンスペースを確保した上で、にぎわいのある場所とするとともに、広域避難場所としての機能を確保する。

Q. 新潟の地震被害の報道を見ていると、学校再編により学校の数が減ることにより、避難場所が少なくなるのではないかと心配である。

A. 避難所は、区の施設で50箇所指定している。乳幼児、障害者は個別に特別養護老人ホーム、保育園を指定している。学校の再編計画により、廃校となった学校は、そのままの施設で他の目的に転用する場合もあるし、他の区施設を避難場所として使える場合もある。いずれにしても水害や地震の教訓を踏まえて区の全体の中で再検討していきたい。

Q. 青少年の社会参画がもれている。学校では習うのに根っこの部分が弱い。

A. 今の子ども達も含んでいる。例えば、大きくなったときにどうなるのか、父親の職場見学をしたり、大人の社会を見せるなどしていく。今の社会参加より進んだ10年後の姿である。

Q. 自分の健康は自分で守るということで、前から区民健診の有料化などが言われているが、区民は区民のために仕事をしてもらうために税金を負担している。区民を大切にす行政をして欲しい。

A. 税収が減少している状況を考えれば、これまでのような区政運営はできなくなることは明らかである。どう変えていくことが大切であり、区民みんなの支えあいやサービスのあり方を変えていくことが必要である。

Q. 労働力など外国人に担ってもらわないと日本が成り立たなくなるという考えがある。中野に1万人いる外国人との付き合い方、共存共栄の方法など、外国人と仲良くするプランを作るべきではないか。

A. 外国人は労働力としても期待されており、区民として一緒に責任を持ってやろうという考えである。

【指標について】

Q. 一つの10年後の姿に対して一つの指標を設定することにこだわらない方がよい。長期展望のもと、意味のある指標に限って設定するべきだ。

A. 意味のある指標を設定していきたい。行政が何をするというものではなく、成果や満足度がどの程度あがったかをはかるものにする。

【10か年計画について】

Q. 10年の長期計画は、財政状況の変化などが見込めないのも無理ではないか。3年から5年の計画にすべきである。

A. 17年度の国の予算編成の過程で三位一体改革が明らかになる。従って来年以降に計画をつくる。計画は前期5年と後期5年に分け、一定の期間経過後に見直したい。

Q. 10年後の中野区を考えるとということは、財政の裏づけがなくてはならない。財政的な説明が不十分だ。

A. 財政の裏づけが当然必要だと認識している。現在、具体的な内容がお示しできないのは、三位一体改革の内容と影響がはっきりわからないためである。財調についても検討しなければならない。基本構想の議決後、10か年計画を策定していく中でお示ししたい。

【施設配置について】

Q. 学校再編計画案が示されたが、計画実施を前倒しすることはあるのか。
A. 今回お示ししたものは案であり、また、5年後に再編計画を見直しするという意味においては、前倒しはあり得る。意見交換会をはじめとした皆さんの意見を伺った上で決定していく。

Q. 学校図書館の中には、上級生が下級生に読み聞かせを行っているところがある。一人っ子が多い中で、いろいろな年代の子どもと遊べる環境が必要ではないか。

A. 小さい児童館で大勢が遊ぶことは困難である。学校や残る児童館では異年齢交流も必要と考えている。

Q. 区民活動センターの運営には個人でも参加できるのか。

A. 地域の話し合いの中で決めていただく。

Q. 図書館を専門図書館にする聞いている。そうなると、自分の借りたい本が近くの図書館から借りられなくなり、かえって不便になる。

A. 区民の必要な図書は確保した上で特色をもった図書館を作ることである。

Q. 幼稚園と保育園の一元化は、子どもの活動時間が違うので難しいのではないか。これからも幼稚園、保育園、一元施設があり利用者が選べるのか。区立幼稚園の数の見直しは具体化しているのか。安い幼稚園を残してほしい。

A. 今のところ幼・保の一元化の具体案はない。幼稚園にも預かり保育があり保育園にも幼児教育があり、あまり差がないかもしれない。同じサービスを同じ負担とするのが一元化の基本的な考え方である。幼稚園は私立が多く、区立に行きたくても行けない人との負担のバランスがとれていない。保護者の負担についても見直したい。

Q. 高齢者会館の機能の見直しと再配置は、具体的にどういうことか。

A. 高齢者会館の現在の機能に加え、介護予防の機能を充実させていくことを考えている。それには手狭になるところも出てくるため、施設の場所や数を見直しするということである。再配置を検討するにあたっては、距離等に配慮したい。

Q. 公園の整備・再編というが、小さいがやすらぎを感じる場所もある。これをなくすのは住民との話し合いが必要である。

A. 学校や児童館の再編にあわせ再配置を考えており、その付近の狭小な公園を、地域のみなさんと話し合いのうえ、整理していくということ。小さい公園をむやみに廃止するのではない。

【その他】

Q. 区と区民の意見交換会是对立の場となってしまう傾向がある。区が言うことが「決定」と受け止められてしまうので、はっきり言わないのではないか。

A. 区民の意見の中で、反映できるもの、できないものについて、その理由をはっきり説明していかなければならないと考えている。

■□新しい「基本構想」の策定に向けて□■

意見交換会以外にも町会などの各種団体との意見交換もおこなっています。また、お手紙やメールでもご意見をいただいております(^_^)みなさんから寄せいただいたご意見等を参考にして、新しい「基本構想」の素案を作成しています。12月下旬に区報等で公表し、区民のみなさんとの意見交換会を開催します。みなさんのご意見をお聞きしたうえで、区案を作成し、来年2月に区議会で提案する予定です。

「新しい中野をつくる10か年計画」は、基本構想が策定された後、策定作業を進めていきます。

◆編集後記◆

「野菜などの作物は豊作」と前号の編集後記に書いたばかりでした。その後わずか2か月の間に、台風の来襲と地震が相次ぎ、状況は一変しました。野菜の高値に頭を悩ませている方も少なくないのではないのでしょうか。

改めて、新潟中越地震に被災された方には、お見舞い申し上げます。

被災者救援や復興に際して、自治体、警察、消防等の奮闘ぶりはもちろんのこと、地域の団結・協力やNPO、ボランティアなどの活躍を目の当たりにして「マンパワー」がいかに大きいかということを再認識しています。

この間、みなさんからも意見交換会をはじめとして、防災に関するご質問やご意見を多数いただきました。その関心の高さを改めて感じながら、新しい「基本構想」素案の作成を進めています。

ところで、街ではポインセチアを見かけるようになりましたね。イルミネーションの数もぐっと増えました。「メリー・クリスマス」の掛け声が響く頃には、素案をお示しできるよう、頑張ってみます！

◇次号は・・・

新しい「基本構想」の素案（概要）と意見交換会日程を中心に、12月下旬に配信する予定です。

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。
seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

◇お知らせ◇

★☆☆「区のしごとの評価を考えるフォーラム2004」を開催します★☆☆

～多くの方のご参加をお待ちしています！～

▼日時：平成16年12月6日（月）午後7時から午後9時30分まで

▼会場：中野区役所7階第10会議室
☆当日直接会場へお越しください☆

▼内容

- 1 基調講演「区民にとっての行政評価」
講師：武藤博己（法政大学法学部教授・中野区外部評価委員長）
- 2 パネルディスカッション「区のしごとの評価を考える」
 - コーディネーター：武藤博己（中野区外部評価委員長）
 - パネラー：坂野善孝（中野区外部評価委員会副委員長・公募区民）
：南島和久（同委員会委員・岩手県立大学）
：梶浦秀樹（同委員会委員・経営コンサルタント）
：吉村芳明（同委員会委員・公募区民）

~~~~~  
区では、外部委員の評価を中心として、しごとの評価を行っています。このしくみを活用して区民生活の向上につなげるため、区に期待していることを含めて、これから「区民が参加する区のしごとの評価」をどのような形で行うべきか、基本構想などの計画に対する実績をどう評価していくかなど、この区民フォーラムを通じて共に考えたいと思います。  
~~~~~

◎区ホームページで16年度の評価結果の内容がご覧いただけます。
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/16hyouka/16hyoukamain.html>

■お問い合わせ■

中野区区長室経営改革担当 Tel: 03-3228-8909
keieikaikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

「10年後の中野を描くメールマガジンナンバー」メインページへは「戻る」キーにてお戻りください。